

一

平成十七年度 中学校入学試験問題 国語

次の文章を読んで、後の質問に答えなさい。

著作権上の都合により文章の掲載を省略しました

著作権上の都合により文章の掲載を省略しました

〈注1〉測鉛線つな＝綱の先に鉛なまりをつけ、水中に投げ入れて水深を測る道具。

〈注2〉情操＝複雑で高い次元の感情。

〈注3〉樋と口＝井戸の樋との先にある水の流れ出る所。

〈注4〉迅速＝物事の進み方がとても速い様子。

〈注5〉おののき＝心が大きく動き、ふるえること。

〈注6〉アーロンの杖＝「旧約聖書」に出てくる奇跡をもたらす杖。

問一 ― 線①「驚きと奇跡」とありますが、これはこの後のどういうことを指していると考えられますか。文中の言葉を用いて、わかりやすく二十字以内で答えなさい。

問二 ― 線②「私には羅針盤もなければ測鉛線もなく、港が近いのか遠いのかそれすら知るすべがなかった」とありますが、これは「私」のどういう状態を表した表現ですか。この後の文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問三 〓 線ア「それ・イ「そんなもの」とは、それぞれ何を指していますか。答えなさい。

問四 ― 線③「いそいそと」の意味を答えなさい。

問五 ― 線④「自分のしたことがわかった」とは、どういうことですか。「自分のしたこと」とは何か、「わかった」とは
どうということが「わかった」のかを考えてわかりやすく説明しなさい。

問六 ― 線⑤「できごとの多かったこの日」とありますが、この「できごと」が書かれているのはどこからですか。はじめの十字を抜き出して答えなさい。

問七 〓 線A～Eのカタカナを漢字で書きなさい。

二

次の文章を読んで、後の質問に答えなさい。

著作権上の都合により未掲載

著作権上の都合により未掲載

〈注1〉棲む〓住む。

〈注2〉顎骨〓あごの骨。

〈注3〉孤高〓ただ一人世俗から離れて高い理想と品位を持つこと。

〈注4〉謀反〓上のものに反対して行動を起こすこと。

〈注5〉背理〓論理に合わないこと。

問一 文中の **1** **5** にあてはまる語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア または イ すなわち ウ たとえば エ そのうえ オ ところで カ ですが キ ですから

問二 — 線①「必ずしも」は文中の **ア** のどの言葉にかかっていますか。記号で答えなさい。

ア つける イ たよる ウ しなかった エ 思われる オ ある

問三 く 線Ⅰ「ユニークな」・Ⅱ「ものにした」・Ⅲ「少なからぬ」の意味をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ	
ア	不思議な	ア	身につけた	ア	わずかながら
イ	すばらしい	イ	軽んじた	イ	少なかった
ウ	みような	ウ	大切にした	ウ	多くの
エ	独自の	エ	具体的に示した	エ	ほどの

問四 — 線②「裸のサル」という言葉について説明している次の文の (a) (d) に問題文から語句を抜きだしてあてはめなさい。(d) には七十字以内で入れなさい。(同じ記号には同じ語句が入ります)

普通のサルならば (a) を (b) ているが、人間は何も (b) ていない (c) な姿をしている。つまり、人間は (d) のである。

問五 Ⅱ 線 A C の指示語の指していることを文中の語句を用いて書きなさい。

問六 — 線③「かわり」という語についての説明としてもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 私たちが、文化である言葉や道具を使って人種のちがう人々と助け合って、紛争や天災による生命の危機を乗り越えてきたということ。

イ 身体の外側に創り出した社会的共有物の典型的なものである言葉に、深くかわって生きていくことで、私たちの生命は保たれてきたということ。

ウ 私たちは、身体の外に創り出した道具や言葉を共有し、互いの違いを超えて協力しあうことで生きのびてきたということ。

エ 私たちは、社会的共有物としての言葉を使って、宗教や芸術や科学という文化を発展させ、生命の輝きを保つてきたということ。

オ 私たちは、身体そのものを変形進化させるかわりに道具や言葉を使いこなし、協力し合って人間をとりまく大自然に對抗して生きのびてきたということ。

問七 — 線④「この危険な生きものである人間」とありますが、どうして危険なのですか。文中の語句を用いて五十五字以内で理由を書きなさい。

問八 「ほんとうの教養」とはどのようなものですか。また、そのためには何が必要だと述べられていますか。それぞれ七十字以内で書きなさい。